

保育そのとき

倉橋 生

一、子供を出来るだけ日光にあてやう。殊に都會の幼稚園では、必須の法規としてもいゝ位だ。時は五月、その最好季。

一、午前室内、午後室外。どこに、そんな規則がある。午前の空氣が午後より清く、午前の日光が午後より強いのは誰れも知つてゐることだ。朝寒の冬なら別のこと、今は初夏の朝だ。

一、保育項目は室内、室外は自由あそび、そんな規則もどこにある。椅子がありませんからつて。机がありませんからつて。樂器がありませんからつて。——一里も離れ

てゐる遠い野原へ運ぶのじやあなしお部屋からお庭へ、さつさと持ち出せ。

一、野山がきれいになると、庭の花壇が氣になる。春にとりのこされた花壇が。

一、「今日になりて菊つくらうと思ひけり」といふ古句がある。今日になりてチューリップを植えやうと思ひけりといつた名句も澤山出來さうだ。しかし、濟んだことは仕方がない。その悔をダリヤに繰りかへさないことだ。

一、身體検査は調査のためでも、統計のためでもない。その子のためだ。家庭へ徹底しない身體調査は魂のない身體検査だ。

一、擔任保姆は毎々その身體検査掛だ。

一、新入園兒の家庭が、そろ／＼、初めの熱心を怠りかける頃だ。